

# 令和3年度事業計画及び収支予算書

令和3年3月5日

公益財団法人 下松市水産振興基金協会

# 令和3(2021)年度 事業計画(案)

【(公財)下松市水産振興基金協会】

## 1. 基本方針

当協会は、水産資源の維持拡大を図るために栽培漁業事業を推進し、地域漁業経営の恒久的安定及び海面利用と地域産業の調和ある発展に寄与し、地域社会の健全な発展を図ることを目的とし、以下の公益目的事業及び収益事業を適切に実施します。

**\*山口県知事から認定された事業内容\***

**\*公益目的事業**

“水産資源の維持拡大・観光資源等の生産及び栽培漁業の推進に関する事業”

**\*収益事業**

“水産資源の維持拡大に関する事業”

### (1) 公益目的事業

当協会の定款にある「水産資源の維持拡大のための種苗生産及び中間育成に関する事業」、「漁場環境保全及び漁業経営安定に関する種苗生産放流事業」並びに「水産資源の維持拡大のための種苗生産及び中間育成に関する事業」を実施することで得た技術を用いて、「魚介類の生産技術、生産管理の向上及び観光資源としての養殖に関する事業」及び「栽培漁業推進に関する調査研究及び啓発に関する事業」を行うことで、当協会が公益認定を受けた公益目的事業である“水産資源の維持拡大・観光資源等の生産及び栽培漁業の推進に関する事業”が実施できます。

また、公益目的事業の実施に必要となる「施設の管理運営に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」も実施します。

原則として、山口県内で行う事業を、公益目的事業とします。

## (2) 収益事業

定款にある「水産資源の維持拡大のための種苗生産及び中間育成に関する事業」、「魚介類の生産技術、生産管理の向上及び観光資源としての養殖に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行うことで、当協会が認定を受けた収益事業の“水産資源の維持拡大に関する事業”が実施できます。

また、収益事業の実施に必要とする「施設の管理運営に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行います。

原則として、山口県外に供給する事業活動を、収益事業とします。

## 2. 個別の事業内容について

### (1) 公益目的事業

※水産資源の維持拡大・観光資源等の生産及び栽培漁業の推進に関する事業

本事業は、近海の漁獲量の増大や魚食普及を図るために、“種苗生産、放流及び供給事業”、“中間育成放流及び供給事業”を実施することで、地域あるいは、山口県の水産資源の維持拡大を図ります。

また、“栽培漁業、魚食推進及び観光資源生産に関する広報啓発事業”を実施することで、水産資源の維持拡大に寄与するだけでなく、観光資源の安定的な生産と供給を行い、産業振興並びに観光振興を図ります。

事業の推進にあたって、当協会が長年蓄積した技術や経験を活用した魚介類の栽培漁業事業と養殖事業を実施し、水産資源の確保に寄与しながら、地域の観光振興に貢献します。

当協会では、公益目的事業を実施するにあたり、以下の[1]から[4]の4つの事業に分類します。

#### [1] 種苗生産、放流及び供給事業

##### 【事業概要と目的】

他では技術的に対応が困難な魚種(マコガレイ、オニオコゼ、キジハタ、アイナメ及びウマヅラハギ等)の親魚の育成、採卵、孵化、育成の実施、新魚種の開発等の生産技術の向上、周南地区海域への放流、漁協や行政への供給を行い、瀬戸内海を中心とした県内の水産

資源拡大及び漁獲量の安定化を目指して栽培漁業を推進します。

**【内容】**

当協会が管理する下松市栽培漁業センターにおいて、魚類の採卵、孵化、中間育成並びに放流を一貫する種苗生産事業を実施します。

種苗生産技術の開発及び向上を図るとともに、共第 77 号共同漁業権海域(周南地区海域)を中心に放流し、県内の漁協や行政等へ種苗供給及び放流をします。

**【対象魚種】**

マコガレイ、オニオコゼ、キジハタ、アイナメ、ウマヅラハギ

**【事業明細】**

資料：別表 1

**[2] 中間育成、放流及び供給事業**

**【事業概要と目的】**

地元漁業者からの要望の高いクルマエビ、カサゴ、アサリ等の中間育成、養殖技術の研究、周南地区海域への放流、行政への供給を行い、共第 77 号共同漁業権海域(周南地区海域)の水産資源の拡大及び漁獲量を安定させ、漁業経営の安定化を図るために、関係機関から種苗を購入し、中間育成した稚魚を放流する栽培漁業を推進します。

**【内容 1】**

関係機関から種苗を購入し中間育成を行い、周南地区へ放流するとともに県内他地区への供給を実施します。

**【対象魚介類】**

ヒラメ、トラフグ、カサゴ、クルマエビ、ガザミ

アワビ、アカガイ

**【内容 2】**

干潟での貝の再生産を実施するため、食害防護ネットや防護木枠の設置、軽石や土の追加を地元団体と協力、助言を実施します。

**【対象稚貝】**

アサリ

【事業明細】

資料：別表 2

[ 3 ] 養殖技術の保持及び観光資源等に関する事業

【事業概要と目的】

① 笠戸ひらめの養殖技術の指導及び改善のための試験研究等の事業

・下松市の代表的な水産資源、観光資源である笠戸ひらめの試験研究のための養殖、観光振興を目的とした観光施設への供給を行います。

② 笠戸のとらふぐの養殖技術の指導及び改善のための試験研究等の事業

・下松市の代表的な水産資源、観光資源である笠戸のとらふぐの試験研究のための養殖、観光振興を目的とした観光施設への供給を行います。

③ 地元漁獲物の未利用魚の養殖技術の開発及び改善のための試験研究等の事業

・地元漁獲物の未利用魚の有効活用を目指し試験研究のための養殖、観光振興を目的とした観光施設等への供給を行います。

また、これらの事業で、地元特産品の観光資源の生産を行うことで、観光資源を用いて広報啓発活動を実施し、観光振興に貢献するとともに、笠戸島観光客及び下松市観光客の施設見学の受け入れを積極的に行い、一般市民の方々の栽培漁業への理解の向上と魚食普及の推進を図ります。

【内容】

ヒラメ種苗、トラフグ種苗及びマサバ種苗を購入し、陸上水槽と海上筏(トラフグ、マサバ種苗については主に海上の田の字筏)で育成し、養殖技術の指導及び技術改善のための試験研究を行います。その成果品である「笠戸ひらめ」は一年を通して出荷し、「笠戸のとらふぐ」は漁業者の出荷時期の端境期を補う時期に、下松市の観光資源として市内観光施設等へ安定供給します。「笠戸のマサバ」は、地元漁業者が漁獲した中での出荷対象にならない



未利用魚を活用して、販売可能なサイズまで、品質改良しながら養殖試験を行います。品質開発にあたっては、飲食店および市場に提供し適正価格等を見据えたマーケティングも行います。漁業者がマサバ養殖に着手しやすいように技術指導をします。

また、新たな観光資源となるその成果品は、地産地消を推進するとともに、市内観光施設等へ供給することで、地域観光等の発展に寄与します。

#### 【対象者】

養殖業者等、他の水産研究機関等、市内観光施設等、一般(市主催等イベント用の提供)

#### 【実施方法】

ヒラメ : 種苗を購入し、陸上水槽及び海上(田の字筏)で育成します。

トラフグ : 種苗を購入し、海上筏(田の字筏) 2台を上限に、単年度の種苗導入を2,000尾程度として、成育状況と歩留まりの向上及び魚病対策に関する技術研究を行います。

マサバ : 地元の漁業者から、出荷対象にならない未利用魚を購入して、海上筏(田の字筏)1台を使用して、単年度の種苗導入を1,000尾程度として、成育状況と歩留まりの向上及び魚病対策に関する技術研究を行います

#### 【事業明細】

ヒラメ資料 : 別表3-①

トラフグ資料 : 別表3-②

マサバ資料 : 別表3-③

### [4] 栽培漁業広報啓発事業

#### 【事業概要と目的】

水産教室(出前講座)、魚(ヒラメ)のさばき方教室、職場体験の受入、餌やり体験、放流体験、施設の見学者の受入、地元のイベントへの参加などを行い、多くの方々に栽培漁業に関する広報啓発することで、水産業への理解や関心をより深めていただくことで、水産業の発展に貢献します。

**【内容 1】**

栽培漁業についての水産教室(出前講座)の実施や魚(ヒラメ)のさばき方の体験教室を開催し、啓発活動する事業を行います。

**【対象者】**

児童生徒を含む一般市民

**【費用、参加費】**

出前講座……無料

“笠戸ひらめ”のさばき方体験教室 1,000 円/回(ヒラメ 2尾)

**【内容 2】**

水産業に対する理解を深めるために、下松市栽培漁業センターで飼育するヒラメ等の餌やり体験と放流体験を実施します。

**【参加費】**

無料

**【事業明細】**

資料：別表 4

(2) 収益事業

※水産資源の維持拡大に関する事業

本事業は、公益目的事業で生じた余剰の成果品を有効活用するために公益認定範疇以外に供給する事業と「施設の管理運営に関する事業」及び「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」を行います。当協会では、これらの収益事業を実施するにあたり、以下の[1]から[4]の4つの事業に分類します。

[1] 種苗生産供給、中間育成放流事業

**【事業概要と目的】**

公益目的事業の安定的な生産に向けた数量の確保から生じた余剰生産分を、水産資源の有効利用及び経営の安定化のため、技術的な面で生産が困難な県外等からの要望に応えるために収益事業として出荷をします。

【内容】

種苗生産したマコガレイ、キジハタ及びオニオコゼ種苗と中間育成したアカガイ種苗を山口県外事業者に供給します。

【対象者】

県外行政機関、県外漁協及びその他の県外事業者

【事業明細】

資料：別表 5-①

別表 5-②

[2] 観光及び水産資源の有効利用に関する事業

【事業概要と目的】

成果品の余剰分を水産資源の有効利用及び経営の安定化のために、下松市内飲食店及び周南市水産物市場などへ供給します。

【内容】

ヒラメ、トラフグ、マサバ養殖での余剰成果品を下松市内飲食店、周南市水産物市場等に供給します。

【事業明細】

資料：別表 6-①

別表 6-②

別表 6-③

[3] 栽培漁業広報啓発施設貸与に関する事業

【事業概要と目的】

栽培漁業広報啓発施設の効率的な管理運営を図るために、当協会が公益目的事業での施設の使用時以外の栽培漁業広報啓発施設の利活用を目的とします。

【内容】

当協会が実施する栽培漁業広報啓発事業の実施で施設の活用をする以外に、公共施設の有効活用のために、公共施設の貸与をします。



**【対象者】**

地域の団体及び個人等

**【事業詳細】**

栽培漁業広報啓発施設の貸与について施設の使用申請書を作成し、申し込みを受け付けて施設の運用を行います。指定管理者仕様書に従って利用料金を徴収します。また、施設貸与に関する免責条項については、下松市のそれに準拠し貸与します。

**[4] 物品販売等に関する事業**

**【事業概要と目的】**

施設の利用者に対して、再訪問を動機づけることで栽培漁業広報啓発事業の推進と水産業への理解と関心を高めることを目的とします。

**【内容】**

栽培漁業広報啓発のための PR グッズ等、笠戸ひらめの一夜干し等の物品販売を行います。また、施設の利用者の利便性を図るために飲料サービス等を業者に委託し、その手数料を徴収します。

**【対象者】**

施設利用者

**【事業詳細】**

栽培漁業を含む水産業への理解と関心を高めるために、施設来訪者の利便性を向上させることで、再来訪の切っ掛けになるような物品を作成し販売します。

- ・ PR グッズ等の作成及び販売等
  - ・ 当協会が育成した笠戸ひらめ等の販売及び加工品等の商品開発等(過去に生産経験のある笠戸ひらめの一夜干し等)
- また、飲料等サービスを業者に委託し、手数料を徴収します。

## I 公益目的事業

## (a) 種苗生産、放流及び供給事業

魚種	出荷先	採卵数(万粒)	種苗生産尾数	出荷尾数	
マコガレイ	下松市	/	804,000	453,000	
	周南市			14,000	
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)			5,000	
	(一財)徳山地区漁業振興基金			20,000	
	(一財)新南陽地区漁業振興基金			8,000	
	県漁協 吉佐支店山口支所			4,000	
	県漁協 大海支店			3,000	
	岩国市 岩国市漁協			16,500	
	岩国市 通津漁協			1,000	
	岩国市 神代漁協			3,400	
	上関町			15,000	
	計			804,000	542,900
	R3年度生産分次年度への繰越在庫(予定)			876.4	804,000
オニオコゼ	下松市	1,064.0	500,000	163,250	
	〃 (令和2年度不足分)			142,986	
	周南市			12,000	
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)			4,750	
	(一財)徳山地区漁業振興基金			10,000	
	(一財)新南陽地区漁業振興基金			10,000	
	県漁協 彦島支店			30,000	
	周防大島町 久賀漁協			2,000	
	周防大島町 日良井漁協			3,000	
	県漁協 浮島支店			3,200	
	岩国市 岩国市漁協			8,000	
	岩国市 通津漁協			500	
	岩国市 由宇漁協			3,500	
	岩国市 柱島漁協			1,700	
	岩国市漁協			8,000	
柱島漁業集落	4,300				
計	1,064.0	500,000	407,186		
キジハタ	下松市	1,410.3	479,500	154,000	
	〃 (令和2年度不足分)			136,899	
	周南市			14,000	
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)			5,000	
	(一財)徳山地区漁業振興基金			12,000	
	(一財)新南陽地区漁業振興基金			15,000	
	県漁協 彦島支店			5,000	
	岩国市 岩国市漁協			8,200	
	岩国市 通津漁協			540	
	岩国市 由宇漁協			950	
	岩国市 神代漁協			1,800	
	岩国市 柱島漁協			940	
	柱島漁業集落			3,500	
(公財)日本釣振興会(下関市・長門市)	5,000				
計	1,410.3	479,500	362,829		
アイナメ	下松市	62.5	100,000	13,000	
	周南市			5,000	
	(一財)徳山地区漁業振興基金			7,000	
	(一財)新南陽地区漁業振興基金			5,000	
	岩国市 岩国市漁協			4,000	
	柱島漁業集落			1,500	
計	62.5	100,000	35,500		
ウマヅラハギ	下松市	1,612.9	100,000	25,000	
	〃 (令和2年度不足分)			23,213	
	周南市			5,000	
計	1,612.9	100,000	53,213		

## (b) 中間育成、放流及び供給事業

魚種	出荷先	購入尾数	出荷尾数
クルマエビ	下松市	300,000	72,000
	周南市		27,000
	計		99,000
ガザミ	下松市	500,000	140,000
	周南市		128,700
	(一財)徳山地区漁業振興基金		90,000
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		10,000
	計		368,700
ヒラメ	下松市	40,000	20,000
	県漁協 彦島支店		15,000
	計	40,000	35,000
	下松市(パイロット事業)	90,000	24,000
	周南市(パイロット事業)		48,000
	計	90,000	72,000
アワビ	下松市	66,000	20,000
	周南市(周南地域栽培漁業推進協議会)		7,000
	(一財)徳山地区漁業振興基金		18,000
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		5,000
	県漁協 周南統括支店		1,800
	計		51,800
トラフグ	下松市	68,000	10,000
	周南市		18,000
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		8,000
	(一財)徳山地区漁業振興基金		15,000
	周南市(周南地域栽培漁業推進協議会)(大型)		2,000
	計		53,000
カサゴ	下松市	60,000	20,600
	周南市		5,000
	(一財)徳山地区漁業振興基金		11,000
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		8,000
	計		44,600
アカガイ・1 (R2年度導入群)	下松市	150,000(在庫)	69,200
	〃 (周南地域栽培漁業推進協議会)		20,000
	周南市		30,000
	(一財)新南陽地区漁業振興基金		20,000
計	139,200		
アカガイ・2 (R2年度導入群)	岩国市 由宇漁協	550,000	10,000
	柱島漁業集落		5,000
	県漁協 浮島支店		63,800
	R3年度導入分次年度への繰越在庫(予定)		150,000
計	228,800		
ヨシエビ	(一財)新南陽地区漁業振興基金	400,000	400,000
	計	400,000	400,000

アサリ	下松市笠戸島深浦干潟	簡易養殖に向けた干潟養殖と天然浮遊 幼生確保
	下松市笠戸島小深浦干潟	

## 別表3

(c) 養殖技術の保持及び観光資源等に関する事業

別表3-①

魚種	種苗購入尾数	年間生産尾数	摘要
笠戸ひらめ	7,854	7,858	令和2年度末在庫予定
	11,550		4・5・10・11月入荷
			令和3年度末在庫予定
計	19,404	15,712	

別表3-②

魚種	種苗購入尾数	年間生産尾数	摘要
笠戸のとらふぐ	2,035	1,198	令和2年度末在庫予定
	1,174		令和3年6月入荷
	392		令和3年度山口県産
			令和3年度末在庫予定
計	3,601	3,233	

別表3-③

魚種	種苗購入尾数	年間生産尾数	摘要
笠戸のさば	500	300	令和2年度末在庫予定(試験魚)
	250		令和3年9月入荷
			令和3年度末在庫予定
計	750	550	

## (d) 栽培漁業広報啓発事業

開催予定日	事業・行事名	内 容
4月上旬	笠戸ひらめさばき方教室 (一般対象)	ステーキナイフを用いた簡便な魚のさばき方の習得及び家庭における魚食普及ピーアール事業。
5月5日	栽培漁業センターまつり	センター内タッチングプールにおいて、笠戸島近海で漁獲される魚介類を展示し直接ふれ親しむ。イベント終了後、好評の魚のつかみ取り大会の実施。
6月上旬	笠戸島・海の幸体験交流会	下松市内の小学児童対象に、水産資源の漁獲体験。
7月中旬	栽培漁業放流体験イベント (コースタルリゾート・海開き)	下松市内の園児対象の放流体験事業。また放流事業の重要性の説明。
7～8月	水産多面的機能発揮対策事業	山口県釣り団体協議会主催による、海浜清掃及び放流事業へ参加。放流イベントを行う。
7～8月	産業観光ツアー(親子)	親子で周南地域地場産業事業所の見学受入。また当事業所の業務内容の説明および餌やり体験の実施。
10月	産業観光ツアー(一般)	一般の周南地域地場産業事業所の見学受入。また当事業所の業務内容の説明および餌やり体験の実施。
12月上旬	笠戸ひらめさばき方教室 (一般対象)	一般を対象に、ステーキナイフを用いた簡単な魚のさばき方の習得及び、家庭における魚食普及ピーアール事業。
12月上旬	まるごと笠戸島まつり	センター敷地内を会場としイベント終了後、クルマエビつかみ取り大会の実施。
3月下旬	元気ふれあい祭りin深浦	会場内にタッチングプールを設置、笠戸島近海で漁獲される魚介類を展示紹介する事業。
3月下旬	宝の島っ子卒業イベント	笠戸島在住の小学生卒業に際し、卒業生を対象に、将来笠戸島の魅力を思い出として記憶に残してもらうことを目的として進める。



年間	校外学習（出前講座）	県内の小・中・高校生等を対象に、栽培漁業と水産資源についての概要説明を各校に直接出張し啓蒙する事業。
年間	校外学習 （施設見学・餌やり体験）	来所の小・中・高校生等を対象に、栽培漁業と水産資源についての概要説明、施設見学及び餌やり体験を行う事業。
年間	職場体験	中・高校生を対象に職場体験を受け入れる事業。
年間	ひよこクッキング教室	下松市健康増進課主催の親子園児による魚食推進を目的とした料理教室。親子のひらめさばき方教室も行う。
年間	魚のさばき方教室	下松市・周南市の団体からの要請で、魚のさばき方教室の講師派遣。
年間	笠戸島観光客の施設見学	笠戸島観光客を対象に、随時施設見学を受け入れる事業。

## II 収益事業

## (a) 種苗生産供給、中間育成供給事業

別表5-①

魚種	出荷先	採卵数(万粒)	種苗生産尾数	出荷尾数		
マコガレイ	徳島県鳴門市 堂浦漁協他2件	/	349,500	24,000		
	(公財)日本釣振興会 兵庫県支部			22,500		
	(公財)日本釣振興会 (広島)			4,000		
	熊本県水産研究センター			13,000		
	太平洋貿易(株)			16,150		
	(公財)三重県水産振興事業団			15,000		
	(有)瀬戸活魚センター			33,000		
	神戸市漁業協同組合			30,000		
	愛媛県管理資源・漁場改善協議会			10,000		
	計			349,500	167,650	
	R3年度生産分次年度への繰越在庫(予定)			384.1	675,700	
	計			384.1	675,700	
キジハタ	(公財)日本釣振興会 (広島・岡山)	89.7	31,600	6,000		
	福井県福井市 越廼・三国港漁協			5,000		
	〃 越廼遊漁船組合・日本釣振興会			5,500		
	(有)アイエスシー			7,600		
	計			89.7	31,600	24,100

別表5-②

魚種	出荷先	購入尾数	出荷尾数	摘要
アカガイ・1 (R2年度導入群)	福岡市漁協 姪浜支所	160,000(在庫)	30,000	
	〃 志賀島支所		3,000	
	(公財)大阪府漁業振興基金		80,000	
	計		113,000	
アカガイ・2 (R3年度導入群)	福井県 若狭高浜漁協	450,000	30,000	
	〃 大島漁協		10,000	
	R3年度導入分次年度への繰越在庫(予定)		160,000	
	計		200,000	

## 別表6

(b) 観光及び水産資源の有効利用に関する事業

別表6-①

魚種	種苗購入尾数	年間生産尾数	摘要
笠戸ひらめ	9,146	9,143	令和2年度末在庫予定
	13,450		4・5・10・11月入荷
			令和3年度末在庫予定
計	22,596	18,289	

別表6-②

魚種	種苗購入尾数	年間生産尾数	摘要
笠戸のどらふぐ	564	332	令和2年度末在庫予定
	326		令和3年6月入荷
	108		令和3年度山口県産
			令和3年度末在庫予定
計	998	896	

別表6-③

魚種	種苗購入尾数	年間生産尾数	摘要
笠戸のさば	500	300	令和2年度末在庫予定 (試験魚)
	250		令和3年9月入荷
			令和3年度末在庫予定
計	750	550	

令和3年度 公益財団法人下松市水産振興基金協会 収支予算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	8,000	8,000	0
基本財産利息	8,000	8,000	0
事業収益	198,031,000	194,021,000	4,010,000
指定管理料収益	167,000,000	167,000,000	0
種苗生産・放流供給事業(県内)	0	0	0
中間育成・放流供給事業	0	0	0
養殖事業(養殖技術保持)	0	0	0
種苗事業・中間育成事業(県外)	19,581,000	18,821,000	760,000
養殖事業(観光・水産資源有効利用)	11,450,000	8,200,000	3,250,000
受取補助金	0	0	0
種苗開発補助金	0	0	0
水産振興補助金	0	0	0
雑収益	3,305,000	841,000	2,464,000
受取利息	5,000	5,000	0
雑収入	3,300,000	836,000	2,464,000
経常収益計	201,344,000	194,870,000	6,474,000
(2) 経常費用			
事業費	193,168,433	186,818,588	6,349,845
給料手当	51,614,480	43,838,000	7,776,480
退職給付費用	3,916,830	5,689,410	△ 1,772,580
福利厚生費	8,758,070	7,624,000	1,134,070
種苗購入費	21,144,000	14,500,000	6,644,000
餌料費	41,750,000	29,358,000	12,392,000
光熱水費	25,387,920	41,674,690	△ 16,286,770
燃料費	3,630,000	4,770,000	△ 1,140,000
図書資料費	118,188	234,024	△ 115,836
旅費交通費	600,000	700,000	△ 100,000
通信運搬費	3,701,452	3,621,400	80,052
消耗什器備品費	546,000	600,000	△ 54,000
消耗品費	5,241,500	7,624,000	△ 2,382,500
被服費	609,920	476,500	133,420
印刷製本費	1,148,364	529,200	619,164
公租公課	5,395,824	9,635,400	△ 4,239,576
修繕料	1,906,000	1,906,000	0
保険料	319,000	300,000	19,000
賃借料	3,405,069	2,191,900	1,213,169
手数料	387,860	283,800	104,060
委託料	12,247,956	9,423,264	2,824,692
減価償却費	1,340,000	1,839,000	△ 499,000

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	8,175,567	8,051,412	124,155
給料手当	2,545,520	2,162,000	383,520
退職給付費用	193,170	280,590	△ 87,420
福利厚生費	431,930	376,000	55,930
光熱水費	1,252,080	2,055,310	△ 803,230
図書資料費	82,812	163,976	△ 81,164
通信運搬費	182,548	178,600	3,948
消耗品費	488,500	376,000	112,500
被服費	30,080	23,500	6,580
会議費	200,000	200,000	0
食糧費	300,000	300,000	0
交際費	300,000	300,000	0
印刷製本費	804,636	370,800	433,836
公租公課	260,176	464,600	△ 204,424
修繕料	94,000	94,000	0
賃借料	167,931	108,100	59,831
手数料	22,140	16,200	5,940
負担金	156,000	106,000	50,000
委託料	604,044	464,736	139,308
減価償却費	60,000	11,000	49,000
経常費用計	201,344,000	194,870,000	6,474,000
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職金積立補助金	0	7,396,738	△ 7,396,738
経常外収益計	0	7,396,738	△ 7,396,738
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	7,396,738	△ 7,396,738
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	7,396,738	△ 7,396,738
一般正味財産期首残高	44,923,073	37,526,335	7,396,738
一般正味財産期末残高	44,923,073	44,923,073	0
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	75,550,000	75,550,000	0
指定正味財産期末残高	75,550,000	75,550,000	0
III 正味財産期末残高	120,473,073	120,473,073	0



令和3年度 公益財団法人下松市水産振興基金協会 収支予算書内訳表  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引控除	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	8,000	0	0		8,000
基本財産利息	8,000				8,000
事業収益	160,000,000	31,031,000	7,000,000		198,031,000
指定管理料収益	160,000,000		7,000,000		167,000,000
種苗生産・放流供給事業(県内)					0
中間育成・放流供給事業					0
養殖事業(養殖技術保持)					0
種苗事業・中間育成事業(県外)		19,581,000			19,581,000
養殖事業(観光・水産資源有効利用)		11,450,000			11,450,000
雑収益	0	3,300,000	5,000		3,305,000
受取利息			5,000		5,000
雑収入		3,300,000			3,300,000
経常収益計	160,008,000	34,331,000	7,005,000	0	201,344,000
(2) 経常費用					
事業費	163,889,866	29,278,567	0	0	193,168,433
給料手当	45,331,920	6,282,560			51,614,480
退職給付費用	3,440,070	476,760			3,916,830
福利厚生費	7,692,030	1,066,040			8,758,070
種苗購入費	16,528,550	4,615,450			21,144,000
餌料費	32,029,480	9,720,520			41,750,000
光熱水費	23,176,800	2,211,120			25,387,920
燃料費	3,328,710	301,290			3,630,000
図書資料費	118,188	0			118,188
旅費交通費	517,200	82,800			600,000
通信運搬費	3,250,908	450,544			3,701,452
消耗什器備品費	470,652	75,348			546,000
消耗品費	4,603,500	638,000			5,241,500
被服費	535,680	74,240			609,920
印刷製本費	1,148,364	0			1,148,364
公租公課	4,575,704	820,120			5,395,824
修繕料	1,674,000	232,000			1,906,000
保険料	272,745	46,255			319,000
賃借料	2,990,601	414,468			3,405,069
手数料	324,720	63,140			387,860
委託料	10,757,124	1,490,832			12,247,956
減価償却費	1,122,920	217,080			1,340,000

(単位:円)

科 目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引控除	合 計
管理費	0	0	8,175,567	0	8,175,567
給料手当			2,545,520		2,545,520
退職給付費用			193,170		193,170
福利厚生費			431,930		431,930
光熱水費			1,252,080		1,252,080
図書資料費			82,812		82,812
通信運搬費			182,548		182,548
消耗品費			488,500		488,500
被服費			30,080		30,080
会議費			200,000		200,000
食糧費			300,000		300,000
交際費			300,000		300,000
印刷製本費			804,636		804,636
公租公課			260,176		260,176
修繕料			94,000		94,000
賃借料			167,931		167,931
手数料			22,140		22,140
負担金			156,000		156,000
委託料			604,044		604,044
減価償却費			60,000		60,000
経常費用計	163,889,866	29,278,567	8,175,567	0	201,344,000
当期経常増減額	△ 3,881,866	5,052,433	△ 1,170,567	0	0
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,906,631	△ 3,077,198	1,170,567		0
当期一般正味財産増減額	△ 1,975,235	1,975,235	0	0	0
一般正味財産期首残高	6,403,360	24,437,429	14,082,284		44,923,073
一般正味財産期末残高	4,428,125	26,412,664	14,082,284	0	44,923,073
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	75,550,000	0	0	0	75,550,000
指定正味財産期末残高	75,550,000	0	0	0	75,550,000
III 正味財産期末残高	79,978,125	26,412,664	14,082,284	0	120,473,073